

名取北高等学校

校訓 人間愛 創造 貢献



1 基本データ

創立：昭和54年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：697名
所在地：〒981-1224
名取市増田字柳田103
TEL：022-382-1261
FAX：022-384-8976

ホームページアドレス：
<https://natorikita.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
natorikita@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
◆JR「名取駅」より徒歩15分。
◆仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした駅」より徒歩15分。
◆名取市民バス「なとりん号」名取市役所前下車徒歩3分。

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

4つの「たい」がめぐる学校

- 生徒が通いたい
- 保護者が通わせたい
- 教職員が働きたい
- 地域住民が参加したい

「人間愛・創造・貢献」の校訓のもと、部活動と勉学の両立を図り、文武両面において「仙南に北高あり」といわれる学校づくりを目指します。輝く未来に向けて、地域とともに新たな校風や伝統を創っていきます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は昭和54年に創立され、今年で48年目を迎える全日制課程(普通科)の高校です。生徒数は697名(男子359名・女子338名)、全学年6クラス、計18学級です。

名取北高は、古代より歴史に名を残す由緒ある「名取・増田」の地にあり、校舎より泉ヶ岳から蔵王にかけてのたたずまいや遠くは太平洋までも眺望することができる恵まれた環境にあります。JR「名取駅」から徒歩15分、仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした駅」から徒歩15分と、通学にも便利です。

施設には、4階建て校舎・体育館・プール・武道場・弓道場の他に、食堂・研修室・和室を備えた「名北館」(冷暖房完備)があり、部活動、学習活動、PTA活動など様々な行事に利用されています。

(2) 教育方針

「人間愛・創造・貢献」を校訓とし、以下の教育目標を掲げています。

- ① 人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えたたくましい人間を育てる。
- ② 創造の精神を尊び、積極的に自己開発に努める人間を育てる。
- ③ 新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる。

(3) 教育課程の特徴

本校の教育課程は、生徒ひとりひとりが、自らの興味・関心・進路に応じて、主体的に選択履修し、学習を進めていくことができます。科目選択にあたっては、科目選択説明会を行い、進路希望達成のために必要な科目を確認しながら、自分に適した学習プランを設計していきます。

1年次では、基礎・基本を重視し、基礎学力の伸長を図ります。2年次以降の科目選択も視野に入れ、生徒自らが学習プランを設計していくことを目指します。

2年次では、将来の進路を見据えた科目選択を行います。大きく「理系」と「文系」の2つに分かれ、それぞれの科目の目標にそって学習活動を展開していきます。

3年次では、生徒の多様な進路希望にきめ細かく対応するため、さらに多くの選択群を設定し、生徒の主体的選択により、自己実現を図るための学習活動をおこないます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

生徒会行事には、5月の生徒総会、総体壮行式、8月の北高祭(文化祭)、10月の体育祭(球技・運動会)などがあります。令和8年度は楽天イーグルス全校観戦を実施することになり、より学校全体の一体感やクラスの仲間との信頼関係を築く場になります。また体育祭は学年の枠を超えたクラス対抗で競われ、総合優勝を目指して一致団結し、大きな盛り上がりを見せています。生徒会が自主的、主体的に活動し、実行委員会と連携をとりながら企画・運営しています。

部活動は、年度当初に必ず全員が登録します。現在設置されている部は、運動部17・文化部10です。どの部においても自主的、意欲的な取組がなされています。

近年では、弓道で宮城県代表として国民スポーツ大会に参加した選手がおり、水泳部でインターハイ出場、また陸上競技部で3000メートル障害でインターハイ入賞を果たした選手がいます。野球部は東北大会出場を果たしました。女子バスケットボール部、女子バドミントン部、女子テニス部は県大会で上位に入賞するなど活躍を見せています。

近年の文化部においても、書道部が宮城県高校書道展で推薦(最高賞)を受賞し、写真部が県高校写真展で学校賞を受賞しました。吹奏楽部は宮城県管打楽器ソロコンテスト金賞、全日本吹奏楽コンクール予選宮城県吹奏楽コンクール金賞を受賞しました。演劇部は演劇コンクール県中央大会に参加して優秀賞3席を受賞しました。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	11	8	6
国公立短大	1	0	1
私立大学	139	141	144
私立短大	11	20	12
専各学校	47	48	58
就職	11	9	6
その他	6	6	4
卒業生計	226	232	231

主な進路先(令和8年3月卒業生)、
()内は人数(1)は省略。

<国公立大学>

岩手大学(2)、宮城教育大学(2)、山形大学(4)、宮城大学、山形県立保健医療大学、都留文科大

<国公立短期大学>

山形県立米沢女子短期大学

<私立大学>

東北学院大学(45)、東北福祉大学(16)、東北工業大学(11)、宮城学院女子大学(20)、東北文化学園大学(6)、尚絅学院大学(16)、仙台青葉学院大学(8)、石巻専修大学(3)、仙台大学(2)、東北医科薬科大学(2)、足利大学、大阪産業大学、金沢工業大学、順天堂大学、近畿大学、専修大学、創価大学、大東文化大学、日本体育大学、立正大学

<私立短期大学>

仙台赤門短期大学、仙台青葉学院短期大学(7)、宮城誠真短期大学、共立女子短期大学、山野美容芸術短期大学

<専修各種学校等>

仙台医療センター附属仙台看護助産学校、仙台湾看護専門学校、JR東京総合病院高等看護学園、東京法律公務員専門学校仙台北校(3)、仙台デザイン&テクノロジー専門学校(3)、仙台理容美容専門学校(3)、東北愛犬専門学校(3)、仙台こども専門学校(2)、他

<就職>

宮城県警察官、自衛隊、亶理町、亶理名取共立衛生処理組合、株式会社東邦銀行、株式会社デンコードー他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

R7年度の主な実績

●野球部

秋季宮城県大会で3位となり創部46年で初となる東北大会出場を果たしました。また、第98回選抜高校野球大会21世紀枠補欠校に選出され、甲子園出場まであと一步のところまでできました。「我夢謝楽」に甲子園出場を目指します。

●弓道部

県総体では男子団体4位、男子個人3位、女子個人4位に入賞し、東北大会に出場しました。また県新人戦では男子団体2位、男子個人2位となり、東北大会や全国大会に出場しました。

●水泳部

県総体では個人種目だけでなくリレー種目でも入賞し、東北大会に出場しました。県新人でも個人種目で東北大会の出場権を獲得しています。個性的なメンバーが、「努力は人を裏切らない」をモットーに日々活動しています。

●陸上競技部

県総体や国体予選、それらの東北大会、インターハイ、U20日本選手権など、3000mSCの選手が各大会で活躍しました。県新人では入賞にあと一步まで迫ったり、県の上位20名に選ばれる選手が複数いたりするなど、上位を目指して可能性を広げるよう日々活動しています。

●女子テニス部

団体戦においては、県総体ベスト8、県新人第3位(2年連続)と毎年県上位の成績を収めています。私立高校が上位を占めている中、「公立最強」を目標に頑張っています。(高校からテニスを始めても大丈夫です!)

(2) 主な学校行事

- 4月・入学式、対面式、部活動紹介、PTA総会
- 5月・学校公開週間、前期生徒総会、県高校総体壮行式
楽天イーグルス観戦
- 6月・県高校総体報告会、前期中間考査
- 7月・夏季課外講習(1年~3年)
- 8月・夏季課外講習(3年)、北高祭



北高祭は2日間で行われます。左の写真は1日目の夜に校庭で実施された花火の様子です。

- 9月・前期末考査
- 10月・体育祭、芸術鑑賞会
- 11月・学校公開週間、後期生徒総会、後期中間考査
- 12月・修学旅行



修学旅行は2年生が3泊4日で行きます。行先はその年度によって異なりますが、R8年度は沖縄への修学旅行が計画されています。R7年度も沖縄でした。写真は美ら海水族館のイルカショーの様子です。

- 2月・後期末考査
- 3月・卒業式

(3) 学校制服紹介



2014年より素材・シルエットを一新、開校以来守られてきた制服をブラッシュアップしました。見た目やイメージを大きく変えることなく伝統のカラーを受け継ぎながら機能の向上を図りました。夏季用半袖ポロシャツと女子用スラックスも導入しています。

(4) 施設紹介



航空写真の中央が名取北高の全貌です。広大な校庭は右側から野球場・サッカー場があり、右上にはテニスコート・弓道場・プール・体育館・武道場があります。左上には食堂や合宿所を備えた名北館(同窓会館)があります。

・野球場側から見た写真



・校舎の中庭の写真



4 在校生からのメッセージ

名取北高校は、一人ひとりが自分らしく成長できる学校です。日々の授業はもちろん、進路に向けたサポートも充実しており、自分の目標に向かって着実に力を伸ばすことができます。また、生徒会活動では地域とのつながりを大切にし、自分たちで地域防災に関する企画を立案しました。具体的には、災害時に地域住民と高校生が協力して行動できるよう、防災意識を高めるための取組や避難行動について考えた企画を提案し、実際の活動へとつなげました。このような経験を通して、自ら課題を見つけ、周囲と協力しながら解決していく力を身に付けることができます。さらに、「総合的な探究の時間」では地域の方々と関わりながら課題解決に取り組み、実社会と結びつけた学びを深めることができます。部活動も活気があり、仲間と支え合いながらかけがえのない経験を積むことができます。学校生活の中で多くのことに挑戦し、自分の可能性を広げられる環境が整っています。充実した3年間で名取北高校で過ごしましょう!